



# 2014 全国真宗青年の集い 北海道大会



第231号

発行所  
札幌市中央区北3条西19丁目  
(郵便番号 060-0003)  
北海道教区教務所  
電話 011-611-9623  
編集 北海道教区教務所  
発行人 黒田 正宜

## たくさんのご協力有難うございました



p2・・・2014 全国真宗青年の集い 北海道大会報告

・・・「子ども・若者ご縁づくり」推進室設置

p3・・・公聴会報告

p4・・・「ほっこりプロジェクト」報告書

シリーズ区令④「教区賦課金納付に関する区令」

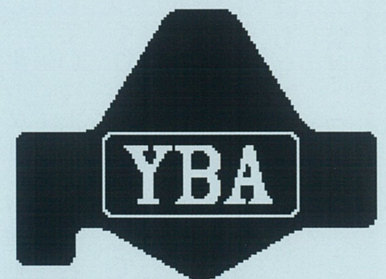
p5・・・得度習礼講習会義務化について

2014年度僧侶伝道プログラム

並びに僧侶研修会カリキュラム パイロット版開催報告

P6・・・2013(平成25)年度北海道教区一般会計決算書

p8・・・北海日誌／常例線布教師一覧



# 「2014 全国真宗青年の集い 北海道大会」開催

去る、7月26日(土)～27日(日)、ご門主様ご臨席のもと「2014 全国真宗青年の集い 北海道大会」(実行委員長：上野美佳)が192名の参加をいただき、教化センター札幌別院にて開催されました。実行委員長の開会宣言に引き続き、教区内僧侶の正信讃が響く中、ご門主様が御入堂され、ご挨拶を頂き、大会が始まりました。

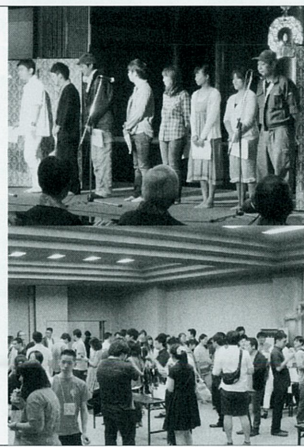
まず、後志組照覚寺佐々木壘さん脚本の朗読劇「北の国では」が行われ、脚本に書かれた台詞を感情込めて、仏青会員で朗読しました。会員の方々は仕事が休みの日を練習に当って本番に臨みました。参加者の多くが朗読劇が初体験で「感動した」「聞きにくいと思っていた法話が聞きやすかった」など多くのお声を頂きました。

さん、札幌ブライダル専門学校の協力を得て開催されました。このプログラムでは一般開放も行い、専門学校生の両親など1000名を超える方々が来院され満堂の本堂で、髪を整え、猪俣さんの衣装を着用したモデルや着物を着た専門学校生たちがきらびやかな衣装をまとって堂内を歩き、最後は模擬仏前結婚式を行いました。模擬仏前結婚式が始まると、それまでの空気が一変し雅楽が流れる中、新郎新婦が入堂し、全員で合掌礼拝の後、誓いの言葉、お念珠交換などをを行い、再び雅楽の音色とともに退出されました。一般の方はお寺での結婚式が新鮮だったようで、この時ばかりは写真撮影も行わず、模擬仏前結婚式に見入っておりしました。

2日目は、大平光代さんの講演会があり、若い時期に宗教に触れることの大切さを、実体験を通じてお話し下さいました。

最後は「未来を描く」として、北海道教区仏教青年連盟中央委員

の北橋誠さんが北海道仏青の活動紹介や今後の仏青について問題提起などを行い「まだ間に合う今やらなければ間に合わない」と仏青活動を小さな事から始めて繋げていきたいと思います」とまとめられました。



全国的には門信徒が主導となって活動している教区仏教青年会は北海道教区と鹿児島教区だけだと言われております。北海道教区では門信徒主導で動きながら僧侶の方々に支えていただいで活動が出来ています。各寺院で青年会活動が難しいのであれば、組で。組でも難しいのであれば教区で活動していける体制を作り上げていこうと思っておりますので、今後も教区仏青の活動に1人でも多くのご参加をお待ちしております。

## 子ども・若者ご縁づくり 推進対策室設置

キッズサンガ運動を始め8年が経過いたしました。この度のご門主様法統継承を機縁に、子ども・若者に阿弥陀さまのご縁にあつてもらい、自らの存在の尊さにめぐめ、お互いを敬い大切にし、助け合うことのできる社会の実現者になつてもらえるよう、キッズサンガの願いを軸に子どもはもとより若者たちへのご縁づくりを「子ども・若者ご縁づくり」として運動を展開していくことになりました。「ひとつのご縁×寺院110、000ご縁」をコンセプトとし、「子ども・若者ご縁づくり推進室」を設置し、キッズサンガ運動を更に展開していくとともに「若者へのご縁づくり」に取り組んでいくものです。

すでに『ご縁が少しでもある若者』へはもつと馴染んでもらい、ご縁を「繋ぎ」「深める」ことが

## 公聴会開催

去る、8月27日(水)に教化センター札幌別院にて公聴会が開催されました。宗派より仲尾孝誠務、高橋篤法副総務、宇野哲哉 重点プロジェクト推進室部長、出羽宏信所務部文書担当課長が出席されました。まず第一部として『御消息披露式典』が行われ仲尾総務より第25代専如門主の『法統継承に際しての消息』が披露・伝達されました。その後、北塔光昇特命布教師によるご法話がありました。

次に第二部として、『公聴会』が実施され、「御同朋の社会をめざす運動」の次期計画についての骨子案並びに「伝灯奉告法要」と「誕生800年法要」の大綱案が提示され、宇野部長より説明がありました。いずれも案のため公聴会で意見聴取後進めていくとのことでした。また来年度より新たになる「重点プロジェクト」の宗門の課題リストは、今回において作成はしないとのことでした。

その後、教区出席者より下記の意見(一部)が出された。  
 ・全門徒に伝わる手法を編み出してほしい。  
 ・基幹運動の成果・課題・総括が

なされていないのではないか。何が課題で、何が成果かわからない。骨子案にもそれを掲載する必要があると思う。

・PDCAサイクルを総括に用いたシステムを教区に示してほしい。

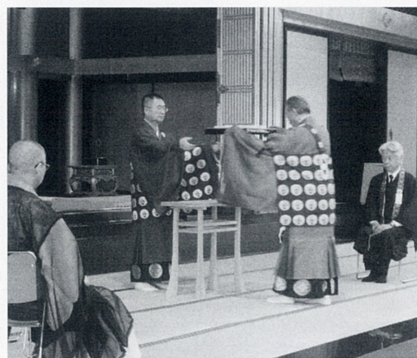
・任期について、現状二期までとなっていることの問題を、宗則の改正を行い、早急に解決して欲しい。

・所属寺院を越え、組や教区を越えた取り組みも必要なのだと思う。どこにどのような門徒がいるかがオープンになるようなことになっていった方がよいと考える。いつか始めなければじまらない。それが、グローバルでスピーディーな今の時代において運動を推進する方策だと思う。

・「重点プロジェクト」と名のることで、教化団体を中心として「枠を超えた横のつながり」が実施しやすかった。これは成果としてよいと思う。

最後に高橋副総務が、「北海道教区が東北支援をしてくれるのは誇りに思う。基幹運動の成果とは、『もう一度自分自身に引きかけて考えてみる』ことが大事なことだった」と述べられ、仲尾総務

は「運動が変わって誤差が生じた。実践運動と重点プロジェクトが二重構えとなった。今後、律していきたい。大綱について、各法要の日程についても早期に決定していきたい。今後、色々な情報を共有していきたいと考えている。」と述べられて終了いたしました。



課題と思われます。そのために宗派としては教区、組、寺院や宗門校や各連盟などの現場と、ご縁づくり活動の企画や事例および教材などについて、情報交換をしながら、共に取り組んでいきたいと考えています。

『これまでご縁のなかつた若者』へは仏教やお寺への先入観や誤解を解く取り組みの中で、仏教を拠り所とする生き方を提案したいと考えています。また、生きづらさを抱えている方が多くいます。その方に寄り添い、阿弥陀さまの心に触れてもらえる取り組みも必要と考えています。また、宗派内外で、これらの事をおこなっている方がおられます。その方々との連携も視野に入れながら、宗派として出来ることを始めます。

(基本方針／チラシより抜粋)

今後、教区でもキッズサンガアドバイザーを中心に企画・提案などを行ってまいりますので、ご協力の程お願いいたします。

## 北海道教区保養事業「ほっこりプロジェクト」報告

今年度重点プロジェクトとして、保養事業「ほっこりプロジェクト夏」を実施させていただきました。昨年12月の保養は1期間で実施いたしました。今夏は、7月18日から7月24日、7月24日から7月29日の2期間に分けて、参加が容易な日程を組み、帯広を中心とした寺院にご協力をいただきました。以下に参加者の感想文を掲載いたします。

「これまで色々な団体の保養に参加させていただきましたが、今まで参加したのは数家族が同じ施設に宿泊し、色々なプログラムがあり、食事を提供していただく形のものでした。ほっこりプロジェクトのような形の保養参加は初めてでした。希望通り自然あふれる山のお寺に行けるのを楽しみにしていました。息子はお寺に泊まることを恐がっていましたが、着いてすぐの外遊びでそんな不安はあっという間に消えたようです。

お兄ちゃんたちに連れられて山に入り、木になっていて実を取って、そのまま食べる。子どもたちは初めての経験で夢中になっていました。毎日外で遊べることをとても喜んでいました。

今日は、虫取りしたい、山登りたい、サッカーしたい、散歩などやりたいことが沢山ありすぎて何して遊ぶのかを毎日、兄妹で話し合っていました。子どもたちは、とてもイキイキし毎日楽しく過ごせました。ありがとうございます。

福島での生活は参ってしまいそうになる時もあるけれど、帰るときに交わした「またね」にとっても救われています。

私たちを思ってくれている方達がいると思うだけでとても心強いです。また会える日を楽しみにしています。ありがとうございます。

(いわき市在住 兄妹のお母さん)

## シリーズ区令④

「教区賦課金納付に関する区令」は、教区財源である賦課金の確保をはかり、教区行政の適正な運用を執行する為、設置しております。その目的を達成するために、「奨励制度」・「減免制度」等を中心に定めている区令です。

まず、「奨励制度」について、組と寺院へ対しての奨励措置を執っています。組への奨励制度としては、組内全寺院が年度内完納(全額納付)した場合は、納付総額の100分の5を助成しております。但し、年度内完納出来なかった組に対しては、9割の寺院が完納した場合、納付総額の1000分の25を助成しております。

次に、寺院への奨励制度としては、7月31日までに完納した寺院に対し、納付額の100分の5を、8月1日から年度内までに完納された寺院に対しては、納付額の100分の3を助成しております。この助成金については、5月頃、前年度賦課金納付

状況から試算して、各組指定口座へ交付させていただいております。

3月25日開催の第105回定期教区会において、この寺院の奨励制度を一部変更させていただきました。従前、6月30日までの奨励期間を、7月31日までとし、納付期間の延長と、宗派賦課金の納付期限と同日とさせていただきます。納付期間の延長については、教区賦課金告知書送付が6月初旬であり、納付期間が非常に短期である為であり、そして、宗派賦課金の納付期限と同日としたのは、納付期限の混乱をさける為です。

次に、「減免制度」について、災害や生活困苦、特別な事情があり、賦課金の納付が困難な寺院は、所定の書式を以て、教務所へ減免を申し出ることが出来ます。申し出を受けました教務所においては、「教区賦課金審議会」(常備会)の審議を経て、減免の可否を決定させていただきます。

### 得度習礼講習会義務化

2015(平成27)年度より、『得度式規程』第11条2項に基づき、得度習礼を受ける方は、事前に得度習礼講習会を必ず受講しなければなりません。

この講習会では着付け、正信偈・御文章や基本作法を学び、得度習礼がより深まるように行われる講習会です。宗務所並びに全国各教区教務所で開催され、所属教区教務所もしくは現住所の教区で受講が可能となっております。この講習会が免除となる関係学校は仏教学院(中央・東京・行信・広島)のみであり、龍谷大学生を初めとする関係学校や中央仏教学院の通信教育部に在籍の方でも必ず受講しなければ得度習礼の願記を提出することが出来ませんのでご注意ください。尚、この講習を受けられた方につきましては修了証を発行いたしますが、有効期限は3ヶ年となっております。

北海道教区におきましては、2014(平成26)年度は12月9日〜10日と3月12日〜13日に開催いたしますので、得度希望の方はお早めにご受講下さい。

### Bブロック 僧侶研修プログラム開催

去る、7月22日(火)に留萌組(稲垣 順組長) 担当のもと、「Bブロック僧侶研修プログラム」が豊富温泉にて開催されました。この僧侶研修プログラムは、以前実施した「教区アンケート」より示された「布教・伝道の研修システム」の構築、「教学研究機関の開設」「法式の指導と普及」の3つの課題をもとに、勤式・布教・教務の基本を再確認し、現場での法要・法座・法務に役立つ知識・技能を習得し、人々の苦悩に応え、寄り添い、共に歩む僧侶の養成を目標に掲げ、実践運動北海道教区委員会内の専門委員会「僧侶研修部会(忍関崇教部長)」が企画・立案を行い、長期計画の中で実施するものであります。

今年度のパイロット版では、各ブロックにて開催し、対象を組長・副組長・教区会議員・実践運動担当者として、組の執行部へまず今回の教区僧侶伝道プログラムの周知を第一に考え、「葬儀」についての学びを教務・法式・布教の各部門で深め、各組へ持ち帰り、次年度よりの伝道プログラム受講奨励を目的として行いました。

初開催となったBブロックでは、まず開催趣旨、及び研修カリキュラムについて、忍関部長、北塔光昇勧学

(アドバイザー)より説明いただき、その後、講義にはいりました。教務部門では、北塔勧学より葬儀の定義と教学上の問題、往還二回向の法義についてお話いただきました。次に法式では、伊澤浄雄教区勤式指導員より葬儀儀礼の基本を押さえ、浄土真宗の葬送儀礼の歴史について触れ、葬場勤行のお勤めの実唱を行いました。最後に布教部門では、忍関教区布教団副団長が、通夜での法話例の一部を紹介し、最後に実際に通夜でお話した法話を実演しました。全講義が終了し質疑応答を行い、教務、法式、布教について様々な現場においての悩み、教学上の問題等、時間いっぱいまで質問が出され有意義なものとなりました。

パイロット版は今後Cブロックは12月19日に北見で、Aブロックは2月2日に札幌で開催予定となっております。



### 【教務所職員紹介】



7月1日付けで関藤顕龍 本願寺札幌別院 承仕が北海道教区教務所 書記として勤務することとなりました。

「この度、札幌別院より教務所勤務となりました。まずは、教区の皆様のお顔とお名前が一致するように覚えていきたいと思っておりますので気軽に声を掛け下さい。」

## 2013(平成25)年度 一般会計北海道教区歳計決算書

## 歳入

款	項	目	費目	決算額	予算額	対比△減	摘要
1	教区賦課金			50,323,875	50,735,125	△ 411,250	
	1	本年度賦課金		50,323,875	50,735,125	△ 411,250	教区賦課金
	2	過年度賦課金		0	0	0	
2	宗派助成金			24,043,412	24,380,000	△ 336,588	
	1	懇志助成金		7,403,640	7,500,000	△ 96,360	門徒講懇志
	2	各種助成金		13,154,772	13,100,000	54,772	宗派より
	3	各種交付金		3,485,000	3,780,000	△ 295,000	宗派より
3	冥加金			2,390,000	1,830,000	560,000	
	1	願記冥加		2,372,000	1,800,000	572,000	110件
	2	その他冥加		18,000	30,000	△ 12,000	得度考査
4	教化協力金			3,130,000	3,130,000	0	
	1	教化協力金		3,130,000	3,130,000	0	道内別院より
5	雑収入			3,014,545	1,844,875	1,169,670	
	1	雑収		2,601,045	1,444,875	1,156,170	講師出向謝礼等
	2	その他		413,500	400,000	13,500	研修会参加費
6	回金			4,066,034	4,066,034	0	
	1	(特)退職積立金より回金		4,066,034	4,066,034	0	
	2	(特)平衡資金より回金		0	0	0	
	3	(特)教学振興資金より回金		0	0	0	
7	前年度繰越金			18,120,790	18,120,790	0	
	1	前年度繰越金		18,120,790	18,120,790	0	
		合計		105,088,656	104,106,824	981,832	

## 歳出

款	項	目	費目	決算額	予算額	対比※超過	摘要
1	伝道教化費			15,265,288	16,850,000	1,584,712	
	1	伝道費		715,508	1,020,000	304,492	
		1	布教推進費	123,360	250,000	126,640	離島布教費
		2	文書視聴覚費	539,438	650,000	110,562	教区時報
		3	電子情報費	52,710	120,000	67,290	HP作成費
	2	寺院振興費		4,898,798	5,830,000	931,202	
		1	研修費	2,044,019	3,100,000	1,055,981	
		2	推進費	2,854,779	2,730,000	※124,779	重点プロジェクト事業費
	3	組織教化費		9,650,982	10,000,000	349,018	
		1	組教化助成	6,450,982	6,600,000	149,018	組助成
		2	連盟助成	2,100,000	2,100,000	0	10連盟
		3	団体助成	500,000	600,000	100,000	3団体
		4	社会教化助成	400,000	450,000	50,000	3団体
		5	学事助成	200,000	250,000	50,000	宗門校助成
2	各種交付金			3,485,000	3,780,000	295,000	
	1	各種交付金		3,485,000	3,780,000	295,000	組交付金
3	会議費			9,581,090	14,420,000	4,838,910	
	1	教区会費		1,624,230	3,020,000	1,395,770	
		1	教区会	966,500	1,800,000	833,500	教区会2回
		2	常備会	420,570	800,000	379,430	常備会3回
		3	諸費	237,160	420,000	182,840	
	2	組長会費		259,740	1,850,000	1,590,260	

款	項目	費目	決算額	予算額	対比※超過	摘要
		1 組長会	259,740	1,800,000	1,540,260	組長会1回
		2 諸費	0	50,000	50,000	
	3	実践運動推進委員会	6,171,030	7,800,000	1,628,970	
		1 委員会費	6,171,030	7,700,000	1,528,970	53回
		2 諸会議費	0	100,000	100,000	
	4	各種会議費	1,526,090	1,750,000	223,910	
		1 地方選挙管理委員会	28,000	150,000	122,000	選管1回
		2 各種会議費	1,498,090	1,600,000	101,910	8回
4		事務費	10,622,360	12,250,000	1,627,640	
	1	通信交通費	7,220,747	7,400,000	179,253	
		1 通信費	1,613,720	1,700,000	86,280	
		2 交通費	5,607,027	5,700,000	92,973	74件出張
	2	渉外費	1,226,190	1,640,000	413,810	
		1 各種団体負担	325,800	410,000	84,200	4団体
		2 寄贈接待費	130,000	230,000	100,000	2団体
		3 慶弔費	390,000	500,000	110,000	22件
		4 交際費	380,390	500,000	119,610	
	3	宗会選挙事務	14,420	50,000	35,580	
	4	諸費	2,161,003	3,160,000	998,997	
		1 印刷費	989,890	1,300,000	310,110	コピー経費
		2 備品費	39,085	500,000	460,915	デジカメ代
		3 事務機器費	887,208	1,010,000	122,792	
		4 消耗品費	224,627	300,000	75,373	
		5 雑費	20,193	50,000	29,807	
5		管理費	1,275,600	1,330,000	54,400	
	1	維持費	1,275,600	1,330,000	54,400	
		1 水道光熱費	1,200,000	1,200,000	0	札幌別院へ
		2 警備費	75,600	80,000	4,400	
		3 諸税费	0	50,000	50,000	
6		教務所員費	44,143,482	45,926,034	1,782,552	
	1	職員費	23,356,680	25,000,000	1,643,320	
		1 職員俸給	23,356,680	25,000,000	1,643,320	職員5名分
	2	諸手当	16,607,065	16,666,034	58,969	
		1 慰労手当	8,773,600	9,000,000	226,400	職員5名分
		2 各種手当	3,767,431	3,600,000	※ 167,431	職員5名分
		3 退転職手当	4,066,034	4,066,034	0	退職2名
	3	職員関係費	4,179,737	4,260,000	80,263	
		1 厚生福祉費	92,550	160,000	67,450	健康診断料
		2 各種保険事業主負担	4,087,187	4,100,000	12,813	社会保険
7		回金	1,600,000	1,600,000	0	
	1	(特)退職積立金へ回金	1,600,000	1,600,000	0	
	2	(特)平衡資金へ回金	0	0	0	
8		予備費	418,000	7,950,790	7,532,790	
	1	予備費	418,000	7,950,790	7,532,790	
		1 第一予備費	0	6,030,000	6,030,000	
		2 第二予備費	418,000	1,920,790	1,502,790	
		合計	86,390,820	104,106,824	17,716,004	

▼北海日誌

【報告】

- 6月3日 保養受入のための研修会(帯広)
- 5日 御消息発布式(本山)
- 6日 法統継承式(本山)
- 7日 全国仏青実行委員会
- 8日 政教分離を守る北海道集会(旭川)
- 10日 勤式練習所運営委員会
- 11日 実践運動 第1回寺院活動支援部会
- 12日 布教団役員会・真宗教団連合研修委員会・布教団・教団連合研修会
- 13日 ボランティア養成研修会
- 14日 第1ブロック仏青連絡協議会(～15日仙台)
- 17日 実践運動 第1回僧侶研修部会
- 18日 全国教師大会(～19日 名古屋)
- 19日 実践運動 第1回門信徒教化部会
- 20日 実践運動 第1回社会部会・教学伝道顕彰奨励審議委員会
- 21日 仏教壮年会理事会
- 22日 重点プロジェクト実行部会
- 24日 札幌管区教師研修大会(～25日札幌市)
- 25日 第1ブロック少年連盟連絡協議会・研修会(～25日仙台市)
- 26日 空知北組仏教婦人会研修会
- 28日 Cブロック総代研修会(～27日中標津町)
- 28日 ビハーク講座(釧路)・教務所長会(築地本願寺)
- 28日 中仏スクーリング
- 30日 仏婦・寺婦総会 合同研修会
- 7月1日 Aブロック総代研修会(函館)
- 2日 紫水会聞法集い
- 3日 紫水会ゴルフ大会
- 7日 第一連区議長・所長会議(～8日 新潟)
- 8日 巡回講師会議(布教・法式部門)
- 9日 巡回講師会議(教学部門)
- 9日 常備会
- 10日 保養事業事前研修会(帯広)
- 11日 組長会・少年連盟理事会
- 12日 仏教壮年会総会・研修会
- 14日 ビハーク評議員会・研修会
- 15日 常例線協議会・仏青全国大会打合せ
- 17日 真宗教団連合支部長(仙台)
- 19日 保育連盟大学講座(～20日)
- 21日 更生保護事業協会 なごみの茶会
- 22日 Bブロック僧侶研修会パイロット版(豊富)
- 23日 教務所長会(本山)
- 24日 実践運動中央委員会(本山)
- 25日 布教団連合総会

- 26日 全国真宗青年の集い(～27日)
- 28日 実践運動 第2回常任委員会
- 29日 臨時教区会
- 8月20日 保育連盟総務部会・法式研修会(～20日)
- 21日 実践運動 第2回寺院活動支援部会
- 22日 実践運動常任委員会(本山)
- 26日 寺族婦人会三役会・第1回寺院振興対策委員会
- 27日 ご消息披露・総局巡回公聴会・実践運動 第3回常任委員会
- 9月1日 得度習礼講習会(～2日 本山)
- 3日 権戸監獄追悼式(月形)
- 4日 布教団長・副団長会議・パイロット版反省会
- 9日 保養事業反省会(帯広)
- 10日 重点プロジェクト正副部長会議(帯広)
- キッズサンガ全アアドバイザー会議(～11日 本山)
- 11日 第一連区布教使研修会(～12日 新潟)
- 16日 実践運動 第2回門信徒教化部会
- 18日 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要(東京)
- 28日 第47回少年指導者研修会(～29日 北見)
- 30日 実践運動 第2回僧侶研修部会
- 【予定】
- 10月7日 実践運動 第3回寺院活動支援部会
- 10日 北海道教区若婦人研修会
- 17日 実践運動 第1回部長会議
- 18日 医療者と仏教者の協働シンポジウム
- 22日 Bブロック総代研修会(～23日 羽幌)
- 24日 全国仏教壮年大会(～25日 福岡)
- 28日 実践運動 第4回常任委員会
- 29日 第1回移動教務所(宗谷)
- 31日 北海道教区布教大会(釧路)
- 11月4日 キッズサンガ中央連絡協議会(～5日 本山)
- 7日 寺院振興連絡協議会(本山)
- 9日 被災地落語会(～11日 仙台)
- 15日 北のBONDS(絆) VOL.4(札幌市)
- 18日 北海道教区若婦人研修会
- 27日 湖心会 讃仰の集い(～28日 定山溪)
- 29日 ほよ～ん相談会(～30日 郡山)
- 12月1日 第2回法式研修会
- 9日～10日 得度習礼講習会
- 3日 第2回布教使研修会
- 13日 第1連区寺院仏教結成に向けた研修会
- 14日 第1連区仏教連絡協議会
- 19日 Cブロック僧侶研修会パイロット版(北見)
- 23日 冬期保養事業(～29日)
- 29日 教務所冬休み休暇(～1月6日迄)

北海道教区常例布教日程(予定)

敬称略

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧路根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
	(東海教区・寺尾 俊洋 三重組・延長寺)	(山陰教区・吉川 恭 千須賀組・永照寺)	(山陰教区・吉川 恭 千須賀組・永照寺)			(詩集教区・龍田 智 今治組・称名寺)		(山陰教区・村上 元 鹿足組・妙壽寺)			(山口教区・岸 弘之 玖珂西組・月空寺)			(熊本教区・吉村 隆真 託麻組・良覚寺)	(北海道教区・渡辺 雅俊 空知北組・法忍寺)		(熊本教区・寺添 和南 玉関組・正元寺)	(山陰教区・齋藤 断城 鹿足組・善正寺)
	(熊本教区・恒松 見照 球磨組・聚教寺)			(四州教区・足利 礼子 宇和島組・圓立寺)	(山口教区・筑波 敬道 岩国組・教法寺)			(東京教区・赤川 浄友 相模組・恵光寺)			(兵庫教区・富岡 隆弘 掛龍西組・即応寺)				(宮崎教区・谷口 幸壘 宮崎組・松尾寺)	(山陰教区・村上 元 鹿足組・妙壽寺)	(山口教区・藤川 昭信 出雲組・光栄寺)	(北海道教区・忍関 崇教 日高組・崇徳寺)
	(富山教区・藤島 秀恵 婦負西組・勝善寺)							(山陰教区・齋藤 断城 鹿足組・善正寺)								(備後教区・伊川 大慶 三沢組・西覚寺)	(兵庫教区・本多 龍典 出石組・乗専寺)	(安芸教区・森岡 恵隆 沼田組・法隆寺)

※変更になる場合がございますのでご了承下さいませ。